

4. 休日の総トリップ数と1日1人あたりトリップ数の推移

- 大阪市の休日の発生集中量は、平成12年から平成22年にかけて、約2割減少しています。
- 減少の割合は、平日とほぼ同程度となっています。

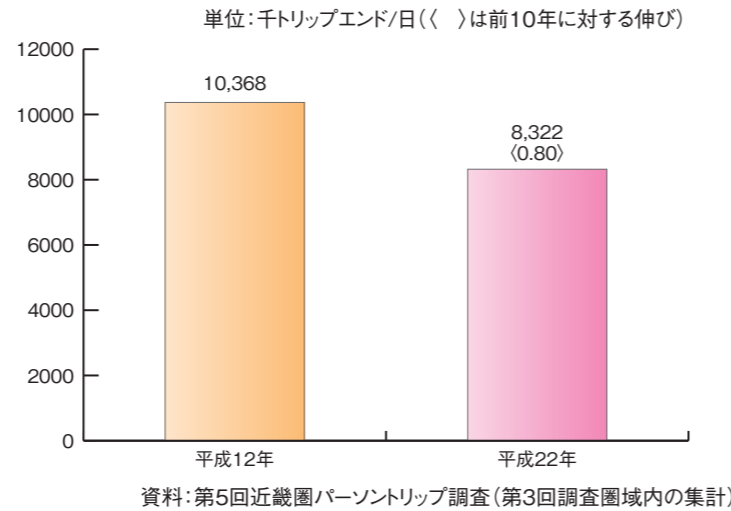


図7 休日の発生集中量の推移(平成12年～平成22年)

- 平成22年において、大阪市の出発地あるいは到着地とするトリップは5,275千トリップ/日となっています。そのうちの3,047千トリップ/日は出発地・到着地ともに大阪市内となっています。

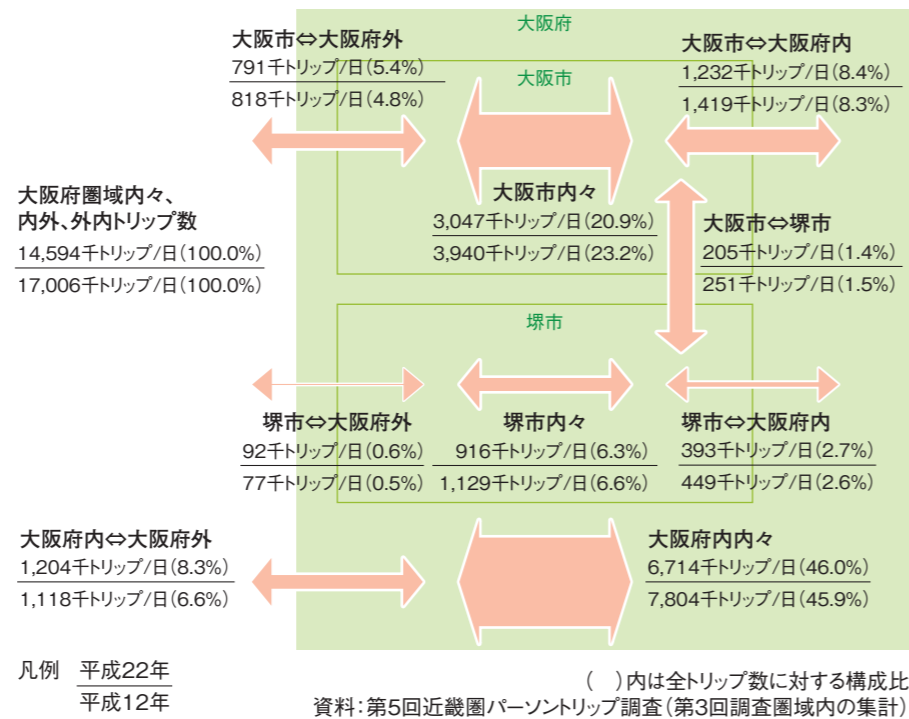


図8 休日の大阪府全体の人の動き(平成12年～平成22年)

- 平成22年において、大阪市内に居住する人の休日1日あたりのトリップ数(生成原単位)は1.46トリップ/人日であり、平成12年から減少しています。
- また、外出率についても同様に、平成12年から平成22年にかけて減少しています。
- 生成原単位・外出率ともに、平日と比較して、休日の方が小さく(低く)なっています。

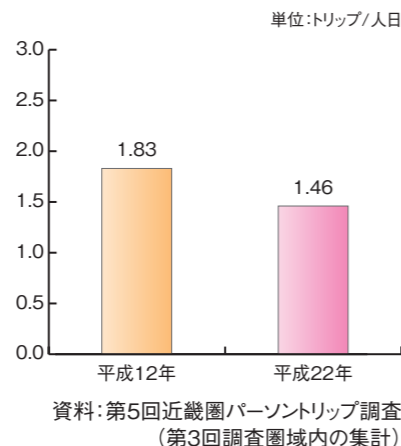


図9 休日の生成原単位の推移(平成12年～平成22年)

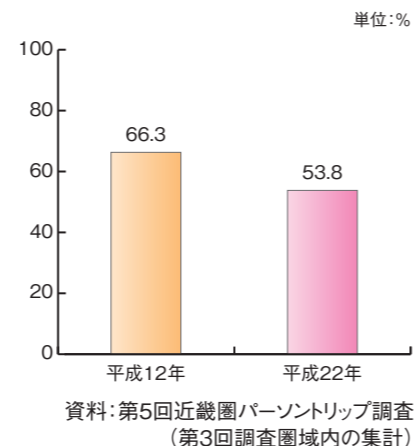


図10 休日の外出率の推移(平成12年～平成22年)

5. 休日トリップの目的構成の推移

- 休日トリップの目的構成をみると、平成12年から平成22年にかけて大きな変化はみられません。
- 平日トリップの目的構成と比較すると、休日では出勤・登校・業務目的が少なく、自由目的が大半を占めていることがわかります。

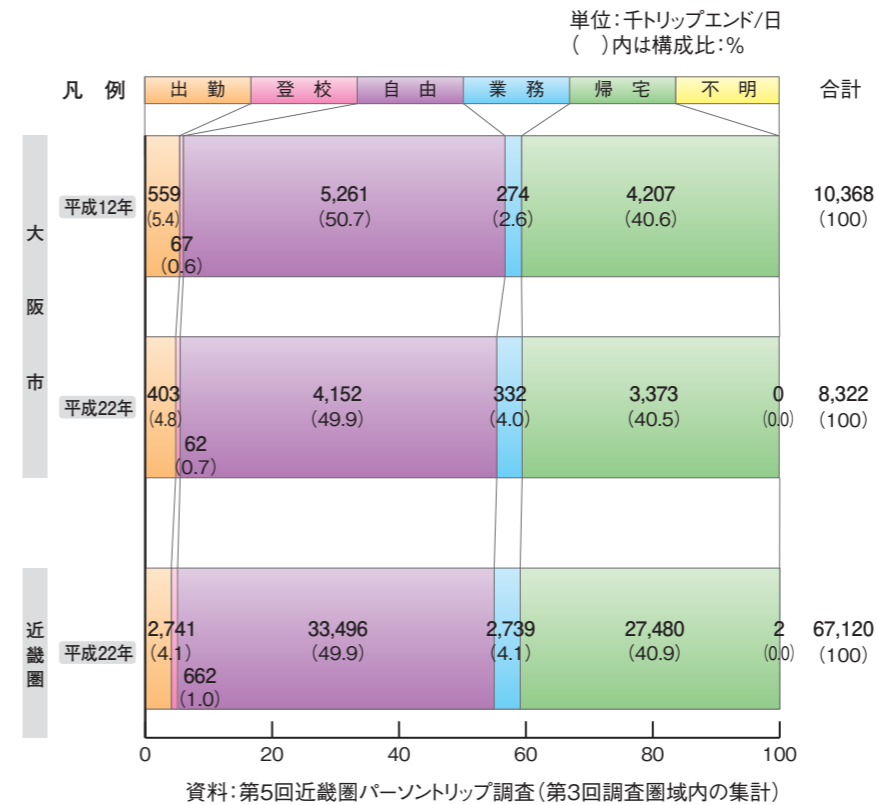


図11 休日トリップの目的構成比の推移(平成12年～平成22年)

6. 休日トリップの代表交通手段構成の推移

- 休日トリップの代表交通手段構成をみると、自動車の割合が減少しており、平成22年では約24%となっています。
- 徒歩についても同様に減少しており、平成22年では約23%となっています。
- 平日トリップの代表交通手段構成と比較すると、休日においては鉄道の割合が低く、自動車の割合が高くなっています。

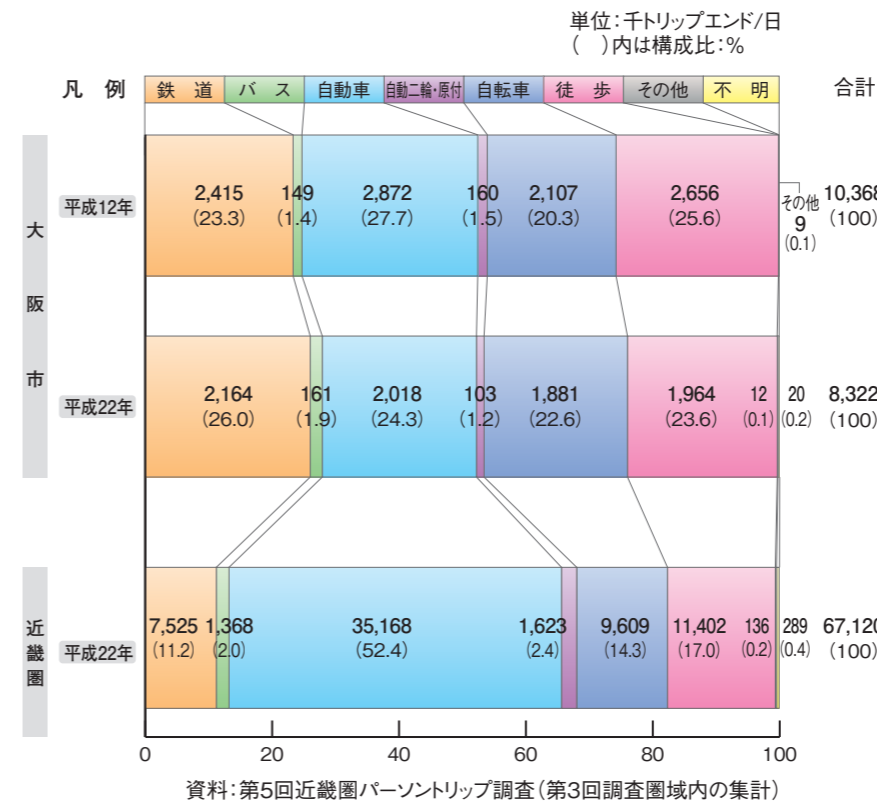


図12 休日トリップの代表交通手段構成比の推移(平成12年～平成22年)